

◆ 2024 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO法人 あそびとアートの体験ひろばおやこ劇場川口

27A-39

代表者：代表理事 川上 典子

URL : <http://blog.canpan.info/kennan-oyako/>

1. 活動が必要とされた状況

コロナ禍以降、端末が普及し、画面を見ただけで体験したと思込んでいる子どもたちが多し。頭だけでなく五感を使って体験することが少なくなっている。親子で一緒に同じことを体験し楽しむ機会も減っている。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ① 竹林見学・整備→竹伐採 2月8日(土) 見沼自然の家(金崎の森)

見沼自然の家に集まり金崎の森に移動、金崎の森で竹伐採。

〈参加人数〉子ども16人、おとな13人、スタッフ6人、
講師3人 計38人

- ② 竹ランタン用の竹の準備、竹炭焼きの準備

- ③ 竹炭焼き 2月9日(日) 見沼自然の家

- ・ 伐採した竹を竹ランタン用ののこぎりでカット、
自分だけの竹を用意
- ・ 昨年の探検隊が伐採した竹で竹炭焼き
- ・ マシュマロなどを焼いて食べる
- ・ みんなであそぶ(じゃんけん列車など)

〈参加人数〉子ども15人、おとな13人、スタッフ9人、
講師1人、計38人

- ④ 竹ランタンづくり、竹炭グッズづくり、

2月16日(日) 見沼自然の家

- ・ 自分だけの竹ランタンづくり
- ・ 2/9に焼いた竹炭を袋詰め
竹炭の効能、SDGsの学習

〈参加人数〉子ども17人、おとな14人、スタッフ8人、講師2人、計40人。

総計 延べ116人



3. 活動の成果

日常では体験できない竹伐採を体験し、自分が切った竹で世界に一つだけの竹ランタンを作成でき、コロナ禍以降少なくなったりリアルな体験の場をつくることができた。無煙炭化器を使って短時間での竹炭焼きができ、竹がまるごと生かされるというSDGsの学習にもなった。子どもたちだけでなく保護者にとっても貴重な体験となった。

4. 今後に残された課題

竹の子探検隊の活動で期待されるのがタケノコ狩りだが、竹林はたくさんあるものの管理者の許可を得るのが難しい。活動場所を探しながら無煙炭化器を活かした竹炭づくりを継続し、社会に還元していけたらと思う。